

令和7年度 江戸川区立南葛西第二中学校 道徳教育全体計画

【法的根拠】
 日本国憲法
 教育基本法
 学校教育法
 学習指導要領

学校の教育目標
国際社会に貢献できる人間の育成を目指して
 ・人権を重んじ自他を敬愛する(礼儀)
 ・自主自律の習慣を身に付け将来を目指して自己実現を図る(自律)
 ・心身を鍛え、個性の発揚を図る(自律)
 ・所属社会の向上と環境改善を目指して着実に努力する(開拓)

【地域の実情】積極的な生き方を求めている
【学校の実情】互いに励まし共に伸びようと考えている
【生徒の実態】自分の良いところを伸ばしたい
【教師の願い】自他を大切に、仲間と共に伸びて欲しい
【保護者の願い】学習に喜びを感じ積極的に生きて欲しい

学校の道徳教育の重点目標
 1. 自他の生命を尊重し、他を思いやる心を育てる。
 2. 自ら考え、共に学び、積極的に社会に貢献する態度を養う。
 3. 自然を愛し、美しいものや崇高なものに感動する心を育てる。

各学年の指導の重点

第1学年 ・助け合い励まし合う態度を養う。 ・物事に積極的に参加する意欲を養う。 ・自然と親しむ心情を養う。	第2学年 ・生徒相互が理解し信頼し合う態度を養う。 ・責任をもってやりぬく実践力を養う。 ・自他の生命を大切にする心情を養う。	第3学年 ・他に学ぶ謙虚な態度を養う。 ・自ら進んで奉仕する実践力を養う。 ・いたわり励まし合う人間愛の精神を養う。
------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------

各教科

- 国語**
・思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする。
- 社会**
・我が国と郷土を愛するとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
- 数学**
・筋道を立てて考え、表現する能力を高める。
- 理科**
・生命を尊重し、自然環境を大切にしようとする態度を養う。
- 音楽**
・美しいものや崇高なものを尊重する豊かな情操を養う。
- 美術**
・感性を働かせ、よりよいこと、美しい
- 保健体育**
・粘り強くやり遂げようとする力やルールを守り、協力し、一人一人の違いを大切にする態度を養う。
- 技術・家庭**
・望ましい生活習慣を身に付けるとともに、勤労の尊さや意義を理解する。
- 外国語**
・外国の文化を理解し、国際的視野に立つて行動する態度を身に付ける。
- 読書科**
・自己の生き方を考え、主体的に学び続けるための資質、能力を育成する。

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目

第1学年

- ・A-(2) 節度、節制
- ・B-(6) 思いやり、感謝
- ・B-(7) 礼儀
- ・B-(9) 相互理解、寛容
- ・C-(11) 公正、公平、社会正義
- ・D-(19) 生命の尊さ

第2学年

- ・A-(3) 向上心、個性の伸長
- ・B-(8) 友情、信頼
- ・B-(9) 相互理解、寛容
- ・C-(11) 公正、公平、社会正義
- ・C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実
- ・D-(19) 生命の尊さ

第3学年

- ・A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志
- ・B-(9) 相互理解、寛容
- ・C-(11) 公正、公平、社会正義
- ・C-(13) 勤労
- ・D-(19) 生命の尊さ
- ・D-(22) よりよく生きる喜び

指導方針

- ・互いの考えを尊重し、伝えあい、人間としての生き方についてともに考え、議論し深め合う。
- ・日常生活における道徳教育を補充・進化・統合する時間として位置付け、計画的発展的に道徳的実践力を育てる。
- ・年間指導計画や学級における指導計画に基づき、生徒の心身の発達や個に応じた適切な指導を行う。
- ・保護者や地域に授業を公開し、意見を交流するなどして、地域と共に子どもを育てる。
- ・資料の整備や指導の方法の工夫に努め、より意義のある時間にする。

指導の工夫

- ・教師が交代で学年の全学級を回り道徳の授業を行うなど得意分野を生かした指導ができるよう工夫し、指導と評価の一体化をはかる。
- ・複数の教職員による学年全体での授業を行うなど協力的な指導ができるよう工夫する。
- ・学校行事や職場体験学習などの体験学習を生かし、体験を通して感じたことや考えたことを基に対話を深めるなど、心に響く指導になるよう工夫する。

特別活動

学級活動

- ・学級の一員としての自覚を持って行動しようとする態度を育てる。(4・9月学級組織の話し合い)
- ・主体的に自分の進路を選択する能力を養う。(進路の学習)

生徒会活動

- ・学校の一員としての自覚を持ち、自己の役割や責任を果たそうとする態度を育てる。(5月・9月生徒総会・生徒会役員選挙)

学校行事

- ・各行事(5月運動会 7月林間学校 9月修学旅行 校外学習 11月合唱コンクール)へ積極的に参加する意欲を養う。

総合的な学習の時間

第1学年
 <学び方を学ぶ>
 ・情報を収集し、自己の学習の課題を見つける方法を学ぶ。

第2学年
 <協力し課題解決する>
 ・課題を見つけ、グループで課題解決に取り組む。

第3学年
 <自らの課題解決を目指す>
 ・自ら課題を設定し、体験し、様々な方法で探究し、課題解決に取り組む。

生活指導

- ・人権尊重の精神のもと、自他の生命を大切に、節度ある生活態度を育てる。
- ・社会性を育て、規範意識をもった生徒を育てる。

環境整備

- ・施設・設備の安全と維持・環境美化に努める。
- ・図書館を充実し、読書活動や調べ学習を推進し、道徳教育に資する。

家庭・地域との連携

- ・PTAと協力し、生徒の健全育成に努める。
- ・小学校との学習や生活の交流を深め、小中連携を進める。

推進体制

- ・学校は家庭、地域と連携し、積極的に自己点検・評価を推進し、定期的に道徳授業等を公開する。